

平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年 4 月 1 日から 23 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人女性技術士の会

1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動の一環として、女性技術者のキャリアに関する座談会の実施（共催）、教育機関の要請に応じ職域紹介に関する講座の実施、各種イベントへ参画しパネル展示を実施する等各種の活動を展開した。また、個人記録をファイルしたポートフォリオの第 2 弾を作成する目的で原稿募集を継続。女性技術者に対するアンケートを集計・分析を実施中である。国際会議における交流事業では、国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部（INWES-J）の運営に参画し INWES-J とともに行事参画を行った。日韓女性技術士との交流会も継続している。仕事と生活の調和を目指した社会基盤整備啓発事業としては一般市民を対象にまちづくりに関するシンポジウムを開催した。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術発展のための普及啓発事業	技術サロン共催。JABEE 課程及び理工系の女子学生と女性技術士の交流の場として、技術士資格やキャリアに関して活発な意見交換を行った。	6月12日 9月4日 12月11日 2月19日	(社)日本技術士会会議室	10	JABEE 課程及び理工系の女子学生等約 30 名	33
	関連団体が実施する催事でパネル展示を行った。	1月29日	コクヨホール	5	修習技術者等約 250 名	0
女性の職域に関する啓発事業	理科系大学等でのキャリア形成、職域紹介等の講演(山梨大学、横浜国大、日本大学)	6月18日 10月6日 1月28日	該当大学等	4	理科系女子学生他約 200 名	4
	「女子中高生夏の学校 2010」において理系の職業紹介等のパネル展示を行った。	8月13日	独立行政法人国立女性教育会館(埼玉)	4	女子中高生及び保護者約 200 名	1
	「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり」に基づく数々のワークショップの一つで、WPETF の技術サロンの取り組みを紹介した。	8月28日	独立行政法人国立女性教育会館(埼玉)	2	シンポジウム一般約 30 名	0
	「サイエンスアゴラ」において理系の職業紹介等のパネル展示を行い、女性技術者の活動を紹介した。	11月20~21日	国際交流大学村(東京・お台場)	12	女子高生・保護者約 100 名	34
	個人の活動記録をファイルしたポートフォリオの原稿の募集を継続した。	年間	会員の事務所	5	理科系女子学生及び一般 500 名	0
	女性技術者に対して実施した仕事に関するアンケートの集計と分析。公表用資料作成した。	年間	会員の事務所	9	女性技術士及び一般不特定多数	0

国際会議における交流事業	国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部（INWES-J）へ会員を派遣し運営に参画した。	年間	INWES-J 事務所他	委員 4	海外含む女性技術者不特定多数	0
	第 3 回日中韓女性科学者技術者指導者フォーラムへ参加した。	11 月 2 日	福建省福州市	6	女性科学者・技術者約 300 名	0
	日韓女性技術士交流会において、「グリーンテクノロジーと技術士の関わり」に沿ったテーマで両国が発表を行い、相互理解を深めた。	10 月 6 日	山口県下関市	13	日韓女性技術士 22 名	31
仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業	一般市民向けに「おもしろいまちづくり」シリーズの第 3 弾として「くらしの中のエコ技術」に関するシンポジウムを実施した。	11 月 13 日	港区コトブキ D I センター	11	技術者及び一般 15 名	87
その他目的を達成するための必要な事業	HP 更新により法人活動の普及啓発のための情報を発信、充実に努めた。	随時	法人事務所他	3	不特定多数	7
	法人活動の定期的な広報を目的として「ニュースレター」を発行した。	4、7、10、2 月末発行	法人事務所他	6	不特定多数	0

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成22年 4月 1日 から 平成23年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

(単位：円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入金収入		
会費収入(22年度分)	264,000	
会費収入(23年度分)	47,000	311,000
2 事業収入		
(1)女性の職域に関する啓発事業		
ポートフォリオ売上	28,700	
(2)仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業		
シンポジウム参加費	49,500	78,200
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	0
4 寄付金収入		
その他寄付金	30,310	30,310
5 その他収入		
利息収入	140	
任意団体からの繰入金	0	140
6 その他の事業会計からの繰入	0	0
経常収入合計		419,650
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1)科学技術発展のための普及啓発事業(技術サロン、アゴラ)		
会議費	980	
印刷製本費	60,700	
通信運搬費	4,600	
(2)女性の職域に関する啓発事業		
通信運搬費	5,670	
交通費	3,490	
(3)国際会議における交流事業		
会議費	31,280	
(4)仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業(シンポジウム)		
会議費	33,591	
交通費	50,000	
通信運搬費	3,200	
(5)その他目的を達成するために必要な事業		
ホームページ維持費	7,430	200,941
2 管理費		
事務用品費	5,905	
会場費	16,300	
会議費	9,185	
交通費	10,000	
印刷製本費	3,890	
通信運搬費	1,565	
手数料	1,210	48,055
経常支出合計		248,996
経常収支差額		170,654

III	その他資金収入の部			
1	固定資産売却収入			
	その他の資金収入合計			0
IV	その他資金支出の部			
1	固定資産取得支出			
	その他の資金支出合計			0
	当期収支差額			170,654
	前期繰越収支差額			500,665
	次期繰越収支差額			671,319
	(正味財産増減の部)			
V	正味財産増加の部			
1	資産増加額			
	当期収支差額(再掲)	170,654		
2	負債減少額	0		
	増加額合計			170,654
VI	正味財産減少の部			
1	資産減少額			
	当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)			
2	負債増加額	0		
	減少額合計			0
	当期正味財産増加額(又は減少額)			170,654
	前期繰越正味財産額			500,665
	当期正味財産合計			671,319
	(注記) 備考の5を参照			